

# 最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和5年10月

財務省東海財務局

## 1. 総論

### 愛知県内経済は、一部に弱さがみられるものの、回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

#### 【総括判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回との比較
総括判断	緩やかに回復している	一部に弱さがみられるものの、回復している	

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している。雇用情勢は、緩やかに改善している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している
生産活動	回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	企業側の人手不足感が強まるなか、雇用情勢は、緩やかに改善している

## 2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

#### （主要項目）

#### 個人消費は、持ち直している

スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、持ち直している。ドラッグストア販売は、増加している。百貨店販売は、緩やかに回復している。家電

大型専門店販売は、弱い動きとなっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、持ち直している。

### 生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している

自動車関連は、回復している。金属工作機械は、高水準ながら弱含みとなっている。電気機械は、自動車向けの開閉機器等を中心に、緩やかに回復している。普通鋼は、緩やかに持ち直しつつある。特殊鋼は、緩やかに持ち直しつつある。

### 企業側の人手不足感が強まるなか、雇用情勢は、緩やかに改善している

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移している。完全失業率は低水準である。法人企業景気予測調査（5年7-9月期〈調査時点・5年8月15日〉）の従業員数判断BSIでみると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても全ての業種で、「不足気味」超となっている。

（その他の項目）

住宅建設 — 前年を上回っている。

設備投資 — 5年度は増加見込み。

公共事業 — 前年を上回っている。

輸出入(円ベース) — 輸出は緩やかに増加している。輸入は前年を下回っている。

企業収益 — 5年度は減益見込み。

企業の景況感 — 全産業の現状判断（5年7-9月期）は、「下降」超となっている。

倒産 — 企業倒産件数は前年を上回っている。

## 3. 県内景気に関する地域の声

・ 各地のイベントや祭り等の再開によって人の動きが活発化していることから、それに伴って観光立地店舗が好調。

（コンビニエンスストア）

・ 半導体不足による影響は薄れており、受注残解消に向けて操業度を上げている。

（輸送機械）

・ 完成車メーカーからの受注に合わせ、足下の生産稼働率は8~9割程度まで回復してきた。今後は、フル稼働を見込んでいる。

（鉄鋼）

・ 専門職を中心として、人材の確保が難しくなっているほか、賃金も増加傾向となっている。

（電気機械）

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ = <https://lfb.mof.go.jp/tokai/>